



住宅火災による死者を減らそう



1 住宅火災による死者発生状況

令和6年中（5月20日現在まで）の住宅火災による死者は31人で、昨年の同月日（41人）と比較すると10名減少しています。

年齢別にみると、過去5年間でも約75%を占め、高齢者の割合が高いことがわかります。

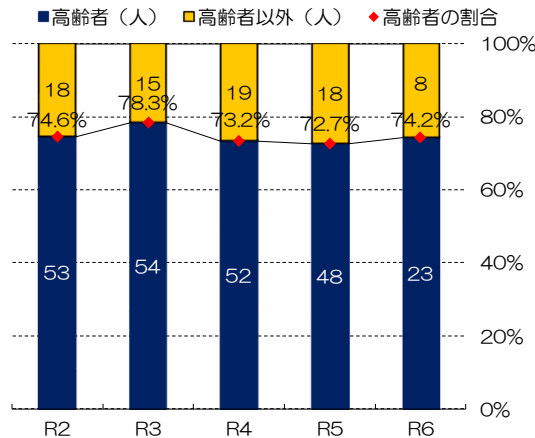


図1 過去5年間の死者発生状況

2 住宅火災における出火原因別の死者発生状況

死者が発生した住宅火災の出火原因は、令和5年で「たばこ」、「ストーブ」、「コンロ」の順となっています。

令和6年も、この3つの原因は住宅火災の死者発生の上位の出火原因となっており、また、高齢者の割合も高いため、特に注意が必要です。

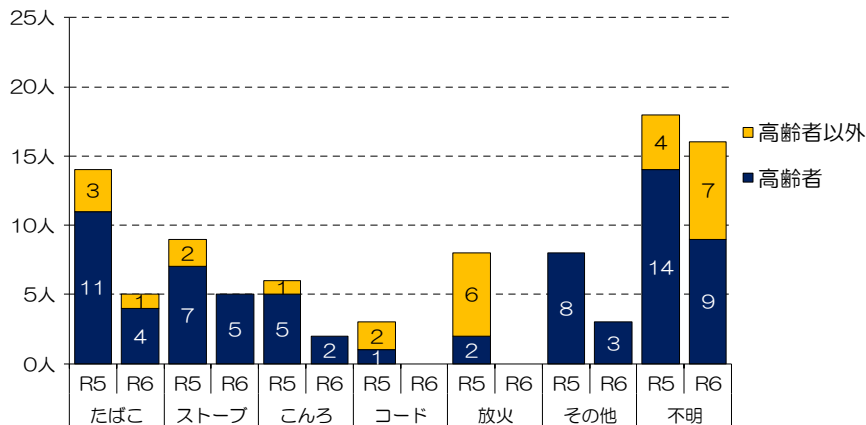


図2 出火原因別の死者発生状況

3 住宅火災における住警器等の設置状況別の死者発生状況

住警器等の設置率は、消防に関する世論調査によると近年約9割で推移していますが、住宅火災による死者が初生した住宅の設置率を見ると、約2割が住警器等を設置していませんでした。住警器等を設置し、火災を早期発見することが大切です。

[詳細な住宅火災予防については、こちらをクリック!!](#)